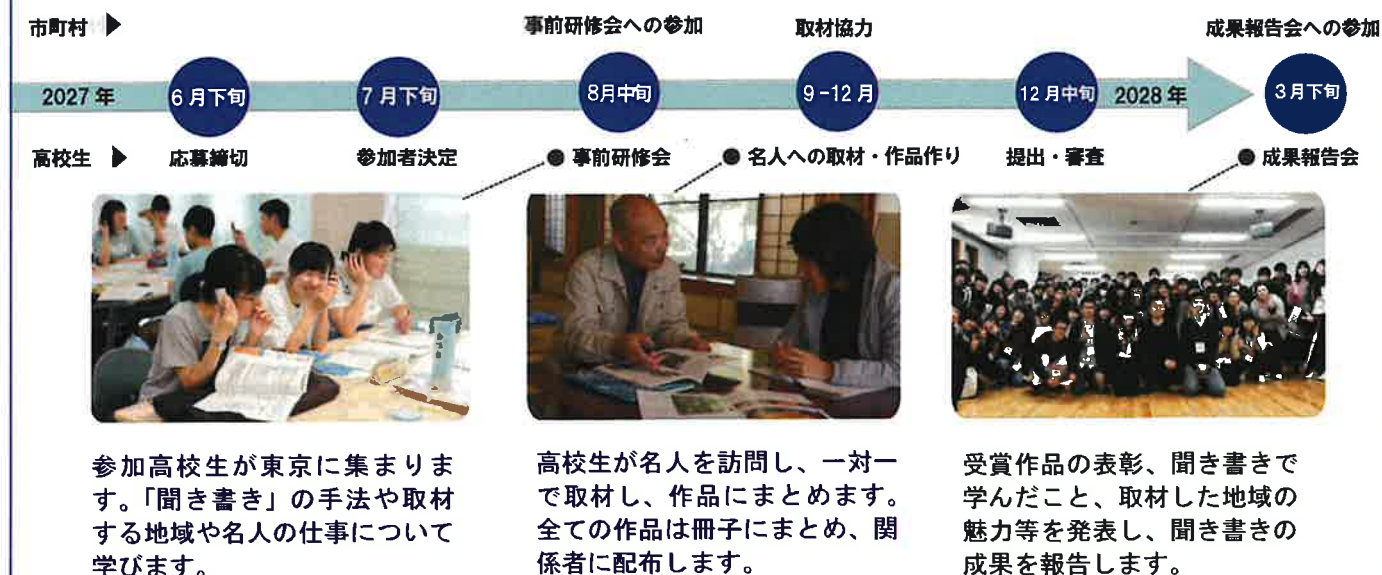


市町村公募から「聞き書き甲子園」の開催まで

ご応募いただいた市町村の中から、実施する地域（10～12地域）を決定します。各市町村からは、「名人」（6～8名）をご推薦いただきます。推薦された「名人」の人数に応じて、参加高校生を全国から募集します。

第26回（2027年度）開催スケジュール



市町村（地域）が推薦する 森・川・海の「名人」とは？

森・川・海などの自然と深く関わり、その知恵や技を生業として継承・実践してきた概ね50歳以上の方を推薦いただきます。

《職種例》

①森・川・海にかかわる仕事

森に関わる職種：林業、炭焼き、木こり、狩猟、きのこ栽培、山菜採り など

②川・海にかかわる仕事

漁師、海女、川漁師、ノリ養殖、カキ養殖、漁具づくり など

③地域自然資本や生態系サービスに則った仕事
薬草採り、鷹匠、伝統的な製法による食料品作り（発酵食品、保存食品、郷土料理、山菜料理等）、茅葺き、紙漉き、がま細工、草木染め、木炭・竹炭を利用した製品作り、野鍛冶等

職種や推薦名人の人数はご相談いただけます。

高校生と名人の出会いが 地域の元気につながります！

高校生は「聞き書き」を通して「名人」の生きざま（人生）を受け止めます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る「名人」の想いに少しでも応えたいと、里山里海の保全や地域活性化等に取り組む卒業生の活動も生まれました。

「聞き書き」によって結ばれる名人と高校生の絆は、若者にとってその地域を「第2のふるさと」と感じさせる特別なものへと変えていきます。まるで本当の祖父母と孫のような交流を続け、地域へ「Uターン」を果たすなど将来の関係人口につながる地域への愛着を育みます。

